

令和8年度入学試験問題

総合問題(教育支援専門職養成課程・福祉コース)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入ください。
3. 解答用紙は3枚、草稿用紙は2枚です。
4. 解答は、1マス目から書き始め、1文字空けたり、改行したりせずに横書きで書き進めください。
5. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。すべて記入ください。
6. 試験終了後、問題冊子と草稿用紙は持ち帰りください。

# I

次のグラフは、NHK放送文化研究所の「日本人の意識」調査において、「老後の生き方」として、全国16歳以上の国民に、6つの選択肢から最も望ましいものを選んでもらった結果である。

このグラフから読み取れることを挙げ、そのこと背景にある社会の変化について、230字以上270字以内で述べよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

## II

以下の文は、熊谷晋一郎著「液化化した世界の歩きかた」(石田祐貴ほか著『わたしの身体はままならない(障害者のリアルに迫るゼミ)特別講義』(河出書房新社、2020年、271-52頁)からの抜粋である。

読んだ上で各問いに回答せよ。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。  
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

問1 傍線部(1)「母親もまた、被害者だったのです」とは、どういう意味か。180字以上220字以内で説明せよ。

問2 傍線部(2)「私自身について言えば、社会モデルに変わったことで、とても生きやすくなりました」とあるが、これは脳性まひによる身体障害をもつ筆者の体験談として述べられたものである。では、知的障害児の場合、「医学モデル」から「社会モデル」に変わることによって、どのような変化があると考えられるか。具体例を示しつつ、280字以上320字以内で説明せよ。